

狂言・キリシタン資料の形容詞の語構成

村田 菜穂子*¹ 前川 武*²

Formation of Adjectives in Kyogen and Christian Materials

Nahoko Murata*¹ Takeshi Maekawa*²

キーワード

形容詞 語構成 語構造 狂言 キリシタン 結合タイプ 造語形式

I はじめに

これまで、上代資料・八代集・中古散文作品から採取された形容詞について、それぞれの形容詞がどの資料でどのくらい使用されているかを対照語彙表の形にまとめ、その一方で、各形容詞について語構成を分析し、その結果を拙著『形容詞・形容動詞の語彙論的研究』^(注1)において前稿①「古代語形容詞の語構成」として公表した。

その後、調査対象を軍記物語・今昔物語集から狂言・キリシタン資料へと拡大し、これらから採取された形容詞の対照語彙表^(注2)の公表を続けてきた。

これと並行して軍記物語・今昔物語集の形容詞の語構成についての分析結果をまとめ、「古代語形容詞の語構成」を増補する形とし、同時に、「古代語形容詞の語構成」公表後に気づいた見落としや誤りを修正して、上代から中世に至る資料から採取した形容詞の語構成の分析結果を前稿②「改訂・増補 古代語形容詞の語構成－上代～中世編－」^(注3)として改めて公表し直した。

本稿では、前稿②に続く資料として、狂言・キリシタン資料の形容詞の語構成の分析結果を一覧表の形にして報告する。

分析の観点は、前稿①に示したが、主な観点は、[a] 語がどのような部分要素（語構成要素）に分けて捉えられるかという点（結合タイプ）と [b] 語がどのような造語成分から組み立てられているかという点（造語形式）である。なお、分析に関する詳細については、前稿①に拠りたい。

*1 むらた なほこ : 大阪国際大学国際コミュニケーション学部教授 (2014.6.6受理)

*2 まえかわ たけし : 大阪国際大学短期大学部教授

II 凡例

前稿②に従うが、改めて記載する。

[1] 見出し語の配列

歴史的仮名遣いにより五十音順に配列する。

[2] 見出し語形の統一

意味の違いに関係しない読み方・発音の違いは同一語とみなし合併して採る。同一語・別語の認定は『古語大事典』〔小学館〕・『日本国語大辞典』〔小学館〕に拠る。

例…ねむたし→ねぶたし、あひなし→あいなし等

この他、今昔物語集（日本古典文学大系）には、「～+方ナシ」に対して、例えば、「可^{クト}譬^{フベ}キ方^{ハウ}無^{カク}シ」「可^{クト}譬^{フベ}キ方^{カタ}無^{カク}シ」のように、「方」の漢字に「ハウ」「カタ」の二通りよみが付されている。しかし、両者の使い分けに一定のルールが認められず、「ハウ」とよむ必然的理由が見出せない。また、これまでに取り上げた資料の中に「～+ハウナシ」という形容詞は一例も見られない。以上のようなことを鑑み、大系で「～+ハウナシ」とよみがなが付されている形容詞は「～+カタナシ」に含めた。

[3] 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語および接頭辞が付いた語の扱い

助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語形、および接頭辞が付いた語形は次のように扱った。

- (1) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が対象とした資料に存在する場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語と合併して採る。

例…いふかひもなし→いふかひなし、やるかたもなし→やるかたなし、なにたかし→なだかし等

例…いはむかたなし・いふべきかたなし→いふかたなし、とりまうしがたし→とりがたし、ゆるされがたし→ゆるしがたし等

- (2) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が対象とした資料に存在しない場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形を仮の語形として設定し立てる。

例…うとましげもなし→うとましげなし、まじりもなし→まじりなし等

例…かきつくさむかたなし→かきつくすかたなし、すべきかたなし・せむかたなし→するかたなし、えたりかしこし→えかしこし等

- (3) 接頭辞の付いた語の扱い

例…おんこころたがひなし→こころたがひなし、おんこころづよし→こころづよし

以上のように、接頭辞を外した語形で採る。

[4] 複合語の扱い^(注4)

名詞+形容詞（例…おくふかし・かひなし）や動詞連用形+形容詞（例…ありがたし・はべりにくし）等は切り離さず複合的な単位として認め、一語として扱う方針によって形容詞を選出した。これは、形容詞の造語法として複合語の産出が新語形成の一端を担っている事実を重視したことに拠る。

[5] 漢字

各形容詞の主な意味を表すために適宜振ったもの

[6] 活用

各見出し語がそれぞれ何活用の形容詞であることを示したもの

[7] 結合タイプと構成単位数

結合タイプとは、語がどのような部分要素（語構成要素）に分けて捉えられ、それぞれの要素がどのような階層的構造にあるかという語構造（語のつくり）を記述しようとするものである。

語構造（語のつくり）を記述するのに際して、まずはその前提となる語を構成する部分要素、すなわち語構成要素の認め方と分類を明らかにする必要があり、野村雅昭氏^(注5)が語（単語）を構成する要素について次のように定義しているのが参考となる。

語基……語の意味的な中核となるもので、単独で、語を構成することもできる。

接辞……語基と結合して、形式的な意味をそえたり、語の品詞性（文法的意味）を決定したりする。単独では語を構成することはできない。

このように、語構成要素は【語基】と【接辞】に大別することができ、さらに【語基】は、その独立性の違いから、単独で語を組み立てることができる自立形式の要素と、単独で語を組み立てることができない結合形式の要素との二つに分けることができる。^(注6)前者のような自立形式である【語基】は、有坂秀世氏^(注7)のいわゆる「名詞・動詞の露出形」（単語）に対応するものであり、後者のような結合形式である【語基】は、有坂氏の「名詞・動詞の被覆形」、乃至は「形状言」^(注8)と呼ばれるものに対応するものである。

また、【接辞】は、【語基】に対する位置によって【語基】の前に付く〈接頭辞〉と後ろに付く〈接尾辞〉の二つに分けられ、語基に対する位置によって、〈接頭辞〉と〈接尾辞〉とが区別される。記述に際して、便宜的に、結合形式である【語基】を「ゴ」、自立形式である【語基】を「タ」、さらに、【接辞】は（その位置によって〈接頭辞〉と〈接尾辞〉とが区別されるので）ひとつにまとめて「セ」で表す。これに従えば、「な／し・さが／なし・ゆか／し」等の語は、（ゴ+セ）という二つの語構成要素から成り立っている2単位語ということになり、「をさ／な／し・おく／ゆか／し」などの語は、[タ+（ゴ+セ）]という三つの語構成要素から成り立っている3単位語、また、「ころ／をさ／なし」などの語は {タ+ [タ+（ゴ+セ）]}、「み／すて／がた／し」などの語は [(タ+タ)+（ゴ+セ）]という四つの語構成要素から成る4単位語ということになる。

[8] 階層構造

階層構造とは、拙著で詳しく述べたように、成立した語形が形容詞として第一番目のものであるか、あるいは既存の形容詞に何らかの語構成要素が接合して構成された第二番目（この第二番目の形容詞にさらに別の要素が接合して構成された第三番目）のものであるかを分析したものであり、派生や複合によってどの程度自己増殖が進んでいるかを捉えようとした観点である。具体的に言うと、形容詞として成立した第一番目の語形である第一次形容詞として「なし・くるし」等があり、この第一次形容詞から構成された「をさ／なし・ころ／ぐるし」等は第二次形容詞ということになる。さらに、この

第二次形容詞から構成された「ころ／をさ／なし・もの／ころ／ぐるし」等は第三次形容詞となり、対象とした資料から採取された形容詞にはこのような三段階のものが存在する。

【9】造語形式

【7】で取り上げた「語のつくり」の問題とは別に、発生論的な観点から、語がどのような造語成分から組み立てられているかという語の生産方式、すなわち「語のくみたて」（造語）の問題がある。「語のくみたて」（造語）の方式を考えるに際して、最終結合次の前項要素（ a ）と後項要素（ β ）をそれぞれ一つの造語成分として捉え、それぞれの造語成分の品詞性を分類して、各形容詞の最終結合次の形式がいかなる成分同士の結びつきかを二項式 [$a + \beta$] で表したものを《造語形式》と呼ぶ。

以下に、 a に位置する造語成分と β に位置する造語成分とを分類して示す。

【 a 】

接頭辞	結合形式の造語成分	接尾語基	自立形式の造語成分（単語）	重複形
カ	語基	（語基＋カ）	名詞	語基の重複
ケ	名詞被覆形	（語基＋キ）	動詞（連用形）	名詞被覆形の重複
コ	動詞被覆形	（語基＋ケ）	動詞（連体形）	形容詞（語幹）の重複
サ	形容詞（語幹）	（語基＋サ）	副詞	名詞の重複
タ	形容動詞（語幹）	（語基＋セ）		動詞（連用形）の重複
ヒ		（語基＋ネ）		副詞の重複
ヲ		（語基＋マ）		
ソラ		（語基＋メ）		
トコ		（語基＋ツカ）		
ナマ		（語基＋ツケ）		
モノ		（動詞被覆形＋カ）		
		（動詞被覆形＋ラ）		
		（動詞被覆形＋ヤケ）		
		（形容詞（語幹）＋ツケ）		
		（動詞（連用形）＋ゲ）		
		（名詞＋ゲ）		

【 β 】

接尾辞	形容詞
シ	形容詞（無シ以外）
ジ	無シ ^(注9)
ケシ	
ナシ（甚）	
ハシ	
マシ	
ガハシ	
ガマシ	

※造語形式または結合タイプが不明な形容詞については一覧から除外した^(注10)

[10] 八資料における出現状況

各見出し語がどの資料に使われているかを簡潔に示すべく、その見出し語が使われた資料に○を施した。

十資料とは、【上代資料】【八代集】【中古散文作品】【訓点資料】【今昔物語集】【軍記物語】【狂言】【キリシタン物】を指す。(表中では、下線部で示したもので略記した)なお、各資料に含まれる作品は次のとおりである。

[11] 備考

今回の分析で新たな語として認定されたものに*を付し、その中で新たな造語形式と認定されたものには※を付した。

【上代資料】

『時代別国語大辞典上代編』に立項されている形容詞のうち、東歌・防人歌に使われている東国語方言の語や複合形容詞中にのみその存在が確認される語を除き、万葉集・古事記(仮名書き部分)・日本書紀(同)・風土記(同)・続日本紀宣命・祝詞に用例のあるものを上代形容詞として認めた。

【八代集】

『古今集』『後撰集』『拾遺集』『後拾遺集』『金葉集』『詞花集』『千載集』『新古今集』

【中古散文作品】

『竹取物語』『土佐日記』『伊勢物語』『平中物語』『大和物語』『多武峯少将物語』『篁物語』『宇津保物語』『蜻蛉日記』『落窪物語』『和泉式部日記』『枕草子』『源氏物語』『紫式部日記』『堤中納言物語』『夜の寝覚』『浜松中納言物語』『更級日記』『狭衣物語』『大鏡』『讃岐典侍日記』『とりかへばや物語』

【訓点資料】

『興福寺本大慈恩寺三蔵法師伝古点』『神田本白氏文集卷第三・四』『高山寺本古往来』

【今昔物語集】

『今昔物語集』

【軍記物語】

『保元物語』『平治物語』『平家物語』

【狂言】

『天正狂言本』『虎明本狂言集』『虎清本狂言集』『狂言六義』『狂言記』

【キリシタン資料】

『天草本平家物語』『天草版伊曾保物語』『天草版金句集』『懺悔録』

【付記】

本稿は、日本学術振興会平成25 - 27年科学研究費補助金(基盤研究(C)、課題番号25370533)による研究成果の一部である。

注1 [2005・11和泉書院]。元は、『大阪国際女子大学紀要』27-1 [2001・9]。拙著には、「古代語形容詞の語構成」(別表一)のほか、「八代集の形容詞対照語彙表」(別表二)「中古散文作品の形容詞対照語彙表」(別表二)、「訓点資料の形容詞の語構成」(参考資料)を載せている。

注2 ①「軍記物語の形容詞対照語彙表」(『大阪国際大学紀要国際研究論叢』21-3 [2008・3])、②「今昔物語集の形容詞対照語彙表—天竺・震旦部—」(『大阪国際大学紀要国際研究論叢』22-3 [2009・3])、③「今昔物語集の形容詞対照語彙表—本朝仏法部—」(『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-1 [2009・10])、④「今昔物語集の形容詞対照語彙表—本朝世俗部—」(『大阪国際大学紀要国際研究論叢』23-2 [2010・1])、⑤「『形容詞対照語彙表』補遺」(大阪国際大学紀要国際研

- 究論叢』23-2 [2010・1]）、⑥「改訂・増補 古代語形容詞逆引き対照語彙表——上代～中世編——（前編）」（大阪国際大学紀要国際研究論叢』24-3 [2011・3]）、⑦「改訂・増補 古代語形容詞逆引き対照語彙表——上代～中世編——（後編）」（大阪国際大学紀要国際研究論叢』25-1 [2011・10]）、⑧「『時代別国語大辞典 室町時代編』の形容詞」（大阪国際大学紀要国際研究論叢』25-2 [2012・1]）、⑨「『邦訳 日葡辞書』の形容詞」（大阪国際大学紀要国際研究論叢』26-1 [2012・10]）、⑩「狂言の形容詞」（大阪国際大学紀要国際研究論叢』27-2 [2014・1]）、⑪「キリシタン資料の形容詞」（大阪国際大学紀要国際研究論叢』27-3 [2014・3]）
- 注3 『帝塚山学院大学日本文学研究』41 [2010・2]
- 注4 なお、「みまうし」「いはまほし」等、～まうし・～まほしの語は採らない。また、「あるべかし」を一形容詞とする見方も存在するが、ひとまず措くことにする。
- 注5 野村雅昭氏「造語法」（『岩波講座日本語』9 [1977・6、岩波書店]
- 注6 ここで言う a 自立形式である【語基】および b 結合形式である【語基】は、阪倉篤義氏『語構成の研究』で言うところの「本来自立の用法を有する単語」および「これに準ずる言語単位」にはば相当する。さらには、a および b は、蜂矢真郷氏「語構成と形状言」（『語文』65 [1996・2]）および『国語重複語の語構成論的研究』[1998・4、塙書房]で言うところの、「独立的要素」および「準独立的要素」に当り、そして、【接辞】は「非独立的要素」に当る。
- 注7 『国語音韻史の研究』増補新版「国語にあらはれる一種の母音交替について」および「母音交替について」[1957・10、三省堂]
- 注8 川端善明氏『活用の研究』I [1978・3、大修館書店] 序説、同書II [1979・2] 第2部第1章～第4章
- 注9 「無シ」を特立した理由は、これを後項要素とするものが際立って多いこともさることながら、「無シ」が他の語のようにある特定の概念を示すものではないという点で、ひとまず他のク活用形容詞と区別している。
- 注10 今回の分析で不明と判断されたものは、「あらくまし」（『虎明本狂言集』）「ぎょうぎょうし」（『狂言六義』）「しつこし」（『狂言六義』）「みちれなし」（『天草版伊曾保物語』）である。従来からの分析で不明と判断されたものとしては、「あぶなし」（『保元物語』『平家物語』『虎明本狂言集』『狂言六義』『狂言記』）「おびたし」（『宇津保物語』『狭衣物語』『大鏡』『讃岐典侍日記』『とりかへばや物語』『今昔物語集』『保元物語』『平治物語』『平家物語』『虎明本狂言集』『虎清本狂言集』『狂言六義』『狂言記』）がある（かっこ内は出現した作品を示す）。

狂言・キリシタン資料の形容詞の語構成

NO.	見出し語	漢字	活用	階層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	軍記	狂言	キリ	備考
1	あかし	赤	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
2	あかし	明	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	あさし	浅	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	あさまし	浅	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
5	あし	悪	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	あたらし	徒	ク	第一次	形容動詞(語幹)+ナシ	2	(ゴ+セ)							○		*
7	あたらし	新	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
8	あたりちかし	辺近	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○		*
9	あぢきなし	味気無	ク	第一次	(語基+キ)+ナシ	3	[(ゴ+セ)+セ]		○	○	○	○	○	○	○	
10	あつし	厚・敦	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	あつし	暑・熱	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	あとなし	跡無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○					○	
13	あどなし		ク	第二次	語基+無シ	3	[ゴ+(ゴ+セ)]								○	*
14	あはし	淡	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○		○	
15	あはれみなし	哀無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
16	あひがたし	逢難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○	○	○	○	○		
17	あまし	甘	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○			○	○	
18	あまねし	遍・普	ク	第一次	(語基+ネ)+シ	3	[(ゴ+セ)+セ]	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	あやし	靈異・奇・怪	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	あやふし	危	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
21	あらけなし	荒気	ク	第一次	形容詞(語幹)+ナシ	3	[(ゴ+セ)+セ]							○		
22	あらし	荒・疎	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
23	あらためにくし	改	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
24	あらまし	荒	シク	第一次	形容詞(語幹)+マシ	2	(ゴ+セ)			○				○		
25	ありがたし	有難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	ありきにくし	歩難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
27	ありなし	有無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○				○	
28	ありにくし	有難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○			○		
29	あをし	青	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	いかし	巖	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○					○	○	
31	いかめし	巖	シク	第一次	名詞+シ	3	[(ゴ+タ)+セ]			○	○	○	○	○	○	
32	いし	美	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)							○	○	
33	いそがし	忙	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
34	いそがはし	忙	シク	第一次	動詞被覆形+ハシ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
35	いそくさし	磯臭	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○		*
36	いたし	痛・甚	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
37	いたしにくし	致難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
38	いたはし	勞	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
39	いたりがたし	至難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	
40	いつくし	巖	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)								○	
41	いでなし	出無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
42	いとけなし	幼	ク	第一次	(語基+ケ)+ナシ	3	[(ゴ+セ)+セ]		○	○	○	○	○	○	○	
43	いとし	愛	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○			○		
44	いとほし	勞・愛	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
45	いひごとなし	言事無	ク	第二次	名詞+形容詞	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]							○		*
46	いひにくし	言難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○		
47	いひよし	言良	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○		
48	いふかひなし	言甲斐無	ク	第二次	名詞+無シ	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]					○	○	○	○	
49	いぶせし	辯	ク	第一次	(語基+セ)+シ	3	[(ゴ+セ)+セ]	○	○	○			○	○	○	
50	いまいまし	忌忌	シク	第一次	語基の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]			○	○	○	○	○	○	
51	いまはし	忌	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)								○	
52	いまめかし	今	シク	第一次	動詞被覆形+シ	3	[(タ+セ)+セ]			○	○	○	○	○	○	
53	いみじ	0	シク	第一次	動詞(連用形)+シ	2	(タ+セ)			○	○	○	○	○	○	
54	いやし	賤・卑	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
55	いらいらし	苛苛	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]								○	*
56	いりがたし	入難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○	○	○	○	○	○	
57	いりやすし	入易	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]					○			○	
58	いりいろし	色色	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]								○	*
59	うし	憂	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
60	うしろめたし	後不安	ク	第二次	名詞+形容詞	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]		○	○	○	○	○	○	○	
61	うすし	薄	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	

国際研究論叢

NO.	見出し語	漢字	活用	階層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	軍記	狂言	キリ	備考
62	うそあまし	甘	ク	第二次	ウソ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]									*
63	うたがはし	疑	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
64	うたがひなし	疑無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]				○	○	○	○		
65	うちたてし		ク	第一次	副詞+シ	2	(タ+セ)							○	○	
66	うちたてにくし	打立難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	[(セ+タ)+(ゴ+セ)]								○	*
67	うつくし	愛・美	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
68	うっそらにくし	打空難	ク	第三次	ウツ+形容詞	4	[セ+[セ+(ゴ+セ)]]								○	※
69	うつたかし	堆	ク	第二次	語基+形容詞	3	[ゴ+(ゴ+セ)]				○	○	○	○	○	
70	うつつなし	現無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
71	うつつらにくし	打憎	ク	第三次	ウツ+形容詞	4	[セ+[タ+(ゴ+セ)]]								○	※
72	うとうとし	疎疎	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]			○					○	
73	うとし	疎	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
74	うとまし	疎	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○	○		○	○	○	○	
75	うまし	旨・甘・美・味	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○			○		○		
76	うらがなし	心悲	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○						
77	うらさびし	心寂	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○		○			
78	うらやし	恨・悔	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○			○	○	
79	うらやまし	羨	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○	○		○	○	○	○	
80	うらさし		ク	第一次	(語基+サ)+シ	3	[(ゴ+セ)+セ]			○		○	○	○		
81	うるはし	麗・美	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
82	うれし	嬉・歡	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
83	うれしがなし	嬉悲	シク	第二次	形容詞(語幹)+形容詞	3	[ゴ+(ゴ+セ)]								○	*
84	えかしこし	得賢	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
85	えがたし	得難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]				○	○	○		○	
86	えきなし	益無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
87	えし	宜・吉・善	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○							
88	おくりにくし	送憎	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
89	おごたりなし	怠無・緩無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]						○		○	
90	おさへがたし	抑難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	
91	おそし	遅・鈍	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
92	おぞし	悍	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○					○	
93	おそれがまし	恐・畏	シク	第一次	動詞(連用形)+ガマシ	2	(タ+セ)								○	*
94	おそれふかし	恐深	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
95	おそろし	恐	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○	○		○	○	○	○	
96	おだし	穩	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○					○	
97	おちがたし	落難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
98	おとなげなし	大人気無	ク	第二次	(名詞+ゲ)+無シ	4	[(タ+セ)+(ゴ+セ)]								○	
99	おとなし	大人	シク	第一次	名詞+シ	1	(タ+セ)			○					○	
100	おなじ	同	シク	第一次	語基+ジ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
101	おひがたし	追難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
102	おぼえにくし	覺難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
103	おぼきし	大	ク	第一次	形容動詞(語幹)+シ	2	(ゴ+セ)								○	*
104	おほし	多・大	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
105	おほし	多・大	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
106	おぼし	思	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)				○		○	○	○	
107	おほつかなし	覺束	ク	第一次	(語基+ツカ)+ナシ	3	[(ゴ+セ)+セ]		○	○	○		○	○	○	
108	おもおもし	重重	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]				○				○	
109	おもし	重	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
110	おもしろし	面白	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○	○		○	○	○	
111	おもしろをかし	面白	シク	第二次	形容詞(語幹)+形容詞	3	[ゴ+(ゴ+セ)]								○	*
112	おもたし	重	ク	第二次	形容詞(語幹)+形容詞	3	[ゴ+(ゴ+セ)]				○				○	
113	おもなし	面無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]				○	○	○		○	
114	おもはし	思	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○	○		○	○	○	○	
115	おもはゆし	面映	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	
116	およびがたし	及難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]				○				○	
117	かうぼし	香	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○	○	○	○	○	○	
118	かかりやすし	懸易	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
119	かざりなし	限無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]				○	○	○	○	○	
120	かくしがひなし	隠甲斐無	ク	第三次	形容詞(語幹)+形容詞	4	[タ+[タ+(ゴ+セ)]]								○	*
121	かくはし	香	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○					○	
122	かくれなし	隠無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○	○	○	○	○	○	

狂言・キリシタン資料の形容詞の語構成

NO.	見出し語	漢字	活用	階層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	軍記	狂言	キリ	備考
123	かけりがたし	翫難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
124	かしこし	恐・畏・賢	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
125	かしまし	躰	シク	第一次	(語基+マ)+シ	3	[(ゴ+セ)+セ]			○						
126	かしらかたし	頑固	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
127	かずわろし	數悪	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
128	かたくなし	頑・癡	シク	第一次	形容動詞(語幹)+シ	2	(ゴ+セ)			○						
129	かたし	固・堅	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
130	かたし	難	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
131	かたじけなし	辱・忝	ク	第一次	(語基+ケ)+ナシ	4	[(ゴ+セ)+セ]+セ]	○		○	○	○	○	○	○	
132	かたはらいたし	傍痛	ク	第二次	名詞+形容詞	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]			○		○	○	○	○	
133	かたむけがたし	傾難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
134	かってんなし	合点無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
135	かなくさし	金臭	ク	第二次	名詞被覆形+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]									*
136	かなし	悲・哀・愛	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
137	かなひがたし	適難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									
138	かはゆし		ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○						
139	かひがひし	甲斐甲斐	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]			○						
140	かひだるし	腕弛	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
141	かひなし	甲斐無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○	○	○	○	○	○	
142	かへりなし	帰無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
143	かみくさし	神臭	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
144	からし	辛・鹹・酷	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
145	かろがるし	軽軽	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]			○						
146	かるし	軽	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○		○						
147	かろし	軽	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
148	きえやすし	消易	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]				○					
149	ききなし	聞無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
150	ききくし	聞難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]				○					
151	きたなし	汚穢・濁・穢	ク	第一次	語基+ナシ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
152	きつし		ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									*
153	きはどし	際疾	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
154	きはまりなし	極無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]				○	○	○			
155	きびし	厳・密	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
156	きよくなし	曲無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
157	きよし	清	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
158	くさし	臭	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○	○	○	○	
159	くさぶかし	草深	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]	○		○						
160	くし	奇	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○								
161	くちをし	口惜	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○		○	○	○	○	
162	くどし		ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									*
163	くはし	妙・細・詳	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○		○	○	○	○	○	○	
164	くぼし	窪	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									
165	くもりなし	曇無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○						
166	くやし	悔	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
167	くらし	暗	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
168	くらはじなし	食	ク	第一次	(動詞被覆形+助動詞)+ナシ	3	[(ゴ+セ)+セ]									※
169	くるし	苦	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
170	くろし	黒	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
171	くろし	黒	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
172	げげくさし	下々臭	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
173	けし	異・怪	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○		○						
174	けだいなし	懈怠無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									
175	けだかし	気高	ク	第二次	ケ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]			○		○	○	○	○	
176	けなりし	異	ク	第二次	形容動詞(終止形)+シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									※
177	けはし	陰	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
178	けもりかし	毛深	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○							
179	こがるし	小軽	ク	第二次	コ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]									*
180	ここちよし	心地良	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									
181	こころよし	心憂	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○		○	○	○	○	○	
182	こころうれし	心嬉	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
183	こころおもしろし	心面白		第三次	名詞+形容詞	4	[タ+[タ+(ゴ+セ)]]									*

国際研究論叢

NO.	見出し語	漢字	活用	階層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	軍記	狂言	キリ	備考
184	こころぐるし	心苦	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]	○								
185	こころづよし	心強	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○						
186	こころなし	心無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]	○	○	○	○					
187	こころばなし	心憎	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○						
188	こころぼそし	心細	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○						
189	こころもとなし	心許無	ク	第二次	名詞+無シ	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]		○	○						
190	こころもとなし	心許無	ク	第二次	名詞+無シ	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]		○	○						
191	こころやすし	心安	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○						
192	こころよし	快	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○					
193	こころよし	快	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○					
194	こころをさなし	心稚	ク	第三次	名詞+形容詞	4	[タ+[タ+(ゴ+セ)]]		○	○						
195	ござかし	小賢	シク	第二次	コ+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
196	ござりにくし	御座難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
197	こし	濃	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○					○	
198	こすし	狡	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)								○	*
199	ことあたらし	事新	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	
200	ことおほし	事多	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
201	ことごとし	事詳	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
202	ことくはし	事委	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
203	ことごとし	事事	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]		○	○					○	
204	ことむつかし	事難	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
205	ことゆゑなし	事故無	ク	第二次	名詞+無シ	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]								○	
206	こはし	強	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○				○	
207	こひし	恋	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○				○	
208	こむつかし	小難	シク	第二次	コ+形容詞	4	[セ+[(ゴ+セ)+セ]]								○	*
209	さうざうし		シク	第一次	語基の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]			○					○	
210	さうなし	左右無・双無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○					○	
211	さかくさし	酒臭	ク	第二次	名詞被覆形+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]								○	*
212	さかざかし	賢々	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]								○	*
213	さかし	賢	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○				○	
214	さくし		ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)								○	*
215	さしよし	指良	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
216	さたなし	沙汰無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
217	さだめなし	定無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○				○	
218	さびし	寂・淋	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○				○	
219	さぶし	寂・淋	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○						○	
220	さへがたし	障難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
221	さむし	寒	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○			○	
222	さもし	様悪	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
223	さもなし		ク	第二次	副詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
224	さががたし	去難・避難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○					○	
225	ざれことぶかし	戲言深	ク	第二次	名詞+形容詞	4	[(ゴ+タ)+(ゴ+セ)]								○	*
226	さわがし	騒	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)			○	○				○	
227	さんじやすし	散易	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
228	しげし	繁・茂	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○	○	○	○			○	
229	しげなし		ク	第一次	語基+ナシ	2	(ゴ+セ)								○	*
230	しさいなし	子細無	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
231	したし	親	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○			○	
232	したはし	慕	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)								○	
233	しづけし	静	ク	第一次	(語基+ケ)+シ	3	[(ゴ+セ)+セ]		○	○	○				○	
234	しづけらし	仕付	シク	第一次	名詞+ラン	2	(タ+セ)									※
235	しにくし	為難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○					○	
236	じひふかし	慈悲深	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
237	しぶし	渋	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)		○		○				○	
238	しふしんふかし	執心深	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
239	しほなし		ク	第二次	語基+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
240	しほらし	萎	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)								○	*
241	じゃうごはし	情強	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
242	じゃうだいなし	正体無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
243	じゃうらかし	姓名	ク	第一次	名詞+ラカシイ	2	(タ+セ)								○	※
244	じゆくしくさし	熟柿臭	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*

狂言・キリシタン資料の形容詞の語構成

NO.	見出し語	漢字	活用	階層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	軍記	狂言	キリ	備考
245	しりがたし	知難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									
246	しりなし	知無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
247	しるし	知・灼・著	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									
248	しろし	白	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									
249	しわし	吝	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									*
250	しんかうなし	信仰無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
251	すぎがたし	過難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									
252	すくなし	少	ク	第一次	語基+ナシ	2	(ゴ+セ)									
253	すぎなし	0	ク	第一次	語基+ナシ	2	(ゴ+セ)									
254	すごし	凄	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									
255	すさまじ		シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)									
256	すし	酸	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									
257	すずし	冷・涼	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									
258	すずどし	鋭	ク	第二次	語基+形容詞	3	[ゴ+(ゴ+セ)]									
259	すぢなし	筋無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
260	ずなし	凶無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
261	すねし	拗	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									*
262	すみがたし	住難・澄難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									
263	すみよし	住良	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									
264	するかたなし	為方無	ク	第二次	名詞+無シ	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]									
265	せはし	忙	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									*
266	せばし	狭	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									
267	せはしなし	忙	ク	第一次	語基の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]									*
268	せはせはし	忙忙	シク	第一次	語基の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]									*
269	せはせはし	狭狭	シク	第一次	語基の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]									
270	ぜひなし	是非無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									
271	ぜめおとしがたし	責落難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]									
272	せんちし	詮無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									
273	そばちかし	傍近	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
274	そむきがたし	背難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									
275	ぞんじなし	存知無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
276	だいにし		ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
277	たかし	高	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									
278	たぐひなし	類無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									
279	たくまし	快・遅	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)									
280	たけし	武・猛	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									
281	ただし	正	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									
282	たづねなし	尋無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
283	たのし	楽	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									
284	たのもし	頼	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)									
285	たのもしげなし	頼気無	ク	第二次	形容動詞(語幹)+無シ	4	[(ゴ+セ)+(ゴ+セ)]									
286	たふとし	貴・尊	ク	第二次	タ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]									
287	たへがたし	堪難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									
288	たやすし	輒・容易	ク	第二次	タ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]									
289	たゆみなし	弛無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									
290	たよりなし	便無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									
291	たらしよし	誑良	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									
292	だるし	弛	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									*
293	たをやし	懈	ク	第一次	形容動詞(語幹)+シ	3	[(ゴ+セ)+セ]									*
294	だんなし	大事無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
295	ちかし	近	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									
296	ちひさし	小	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)									
297	ちりやすし	散易	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									
298	つかひよし	使良	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									
299	つかまつりよし		ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
300	つきなし	付無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									*
301	つたなし	怯・拙	ク	第一次	語基+ナシ	2	(ゴ+セ)									
302	つがなし	無恙・無事	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									
303	つばし	窄・壺	ク	第一次	名詞+シ	2	(タ+セ)									*
304	つめたし	冷	ク	第二次	名詞被覆形+形容詞	3	[ゴ+(ゴ+セ)]									
305	つゆけし	露	ク	第一次	名詞+ケシ	2	(タ+セ)									

国際研究論叢

NO.	見出し語	漢字	活用	階層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	軍記	狂言	キリ	備考
306	つよし	強	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
307	つらし	辛	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
308	つらくし	面憎	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○		*
309	つれなし	無情	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	
310	てごほし	手強	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	
311	てづよし	手強	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
312	てむさし	手	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
313	とうかんなし	等閑無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
314	ときよし	時吉	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○					○	
315	ところせし	所狭	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○		○	
316	とざまがまし	外様	シク	第二次	名詞+ガマシ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
317	とし	利・敏・疾	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
318	としひさし	年久	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
319	ととのえがたし	調難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
320	とびにくし	飛難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
321	とほし	遠	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
322	とほぼし	遠遠	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]								○	*
323	とほりがたし	通難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]					○			○	
324	ともし	乏	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
325	とりにくし		ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
326	とりよし		ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
327	ながし	長	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
328	ながながし	長長	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]	○	○	○					○	
329	なごりをし	名残惜	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	○
330	なさけなし	情無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]					○	○	○	○	
331	なさけふかし	情深	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]					○	○	○	○	
332	なし	無	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
333	なしくし		ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
334	なだかし	名高	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○				○	
335	なだかし	名高	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
336	なつかし	懐	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○				○	○	
337	なつかし	懐	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○					○	
338	なにとなし	何無	ク	第二次	副詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]					○	○	○	○	
339	なにとなし	何無	ク	第二次	副詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]					○	○	○	○	
340	なふじゅうなし	納受無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
341	なぶりよし	鬻良	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
342	なほし	直	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
343	なまぐさし	生臭	ク	第二次	ナマ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]				○	○	○	○	○	
344	なまぬるし	温	ク	第二次	ナマ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]								○	*
345	なみだもろし	涙脆	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]				○				○	
346	ならびなし	並無・双無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]				○	○	○	○	○	
347	なりがたし	成難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]				○	○	○	○	○	
348	なりにくし	成難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
349	なりよし	成良	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
350	なれなれし	馴馴	シク	第一次	動詞(連用形)の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]			○	○				○	
351	なんでもなし	何無	ク	第二次	副詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
352	なんともなし		ク	第二次	副詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
353	なんなし	難無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○					○	
354	にあはし	似合	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)								○	*
355	にがし	苦	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)					○			○	
356	にがにがし	苦苦	シク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]								○	
357	にくし	憎	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
358	にくにくし	憎憎	ク	第一次	形容詞(語幹)の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]								○	*
359	にんげんちかし		ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
360	ぬるし	温	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○					○	
361	ねたし	嫌・妬	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
362	ねだりがまし		シク	第一次	動詞(連用形)+ガマシ	2	(タ+セ)								○	*
363	ねだりくさし		ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
364	ねにくし	寝難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
365	ねばし	粘	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)								○	*
366	ねぶたし	眠	ク	第二次	語基+形容詞	3	[ゴ+(ゴ+セ)]	○	○						○	

狂言・キリシタン資料の形容詞の語構成

NO.	見出し語	漢字	活用	階層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	軍記	狂言	キリ	備考
367	ねむし	眠	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)								○	*
368	ねりなし	練無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
369	ねんなし	念無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	
370	のうなし	能無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
371	のがれがたし	遁難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○		○	○		○	
372	のこりおほし	残多	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○				○	
373	のこりずくなし	残少	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
374	のこりなし	残無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○			○	○*
375	のぞまし	望	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)									○*
376	のべがたし	述難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]					○			○	
377	のぼりなし	上無	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
378	ぼうじがたし	忘難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]						○		○	○*
379	はかなし	果無・果敢無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	
380	はかばかし		シク	第一次	名詞の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]				○		○	○	○	
381	はげし	激・烈	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
382	はしかし	芒	ク	第一次	名詞+シ	2	(タ+セ)									○*
383	はしたなし	端	ク	第一次	形容動詞(語幹)+ナシ	2	(ゴ+セ)				○		○	○	○	
384	はぢがまし	恥	シク	第一次	名詞+ガマシ	2	(タ+セ)				○				○	
385	はづかし	恥	シク	第一次	(動詞被覆形+カ)+シ	3	[(ゴ+セ)+セ]			○	○	○	○	○	○	
386	はなはだし	甚	シク	第一次	副詞+シ	2	(タ+セ)				○	○			○	○*
387	はなれがたし	離難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○					
388	はなれやすし	離易	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
389	はひりにくし	入難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
390	はやし	早・速	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
391	はれがたし	晴難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]					○				
392	はれがまし	晴	シク	第一次	動詞(連用形)+ガマシ	2	(タ+セ)				○				○	
393	ひきあげがたし	引上難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
394	ひきし	低	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)						○	○	○	
395	ひさし	久	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
396	ひだらし	饑	ク	第二次	ヒ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]								○	○*
397	ひとおそろし	人恐	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
398	ひとおほし	人多	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
399	ひとがまし	人	シク	第一次	名詞+ガマシ	2	(タ+セ)									○*
400	ひとくさし	人臭	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
401	ひとこほし	人強	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
402	ひとし	等・斉	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)				○	○	○	○	○	
403	ひとちかし	人近	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
404	ひととほし	人遠	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
405	ひまなし	隙無・暇無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]				○	○	○	○		
406	ひるいなし	比類無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
407	ひろし	広	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
408	ひわかし	若	ク	第二次	ヒ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]								○	○*
409	ふかし	深	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
410	ふかし	深	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)									○*
411	ふがひなし	筋甲斐無	ク	第一次	名詞+ナシ	2	(タ+セ)									○※
412	ふせぎがたし	防難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
413	ふちたかし	縁高	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
414	ふとし	太	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○		○	○	○	○	
415	ふるし	古・旧	ク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
416	ふんべつらし	分別	シク	第一次	名詞+ラシ	2	(タ+セ)									○※
417	へだてなし	隔無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]				○					
418	へんなし	篇無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
419	ほいなし	本意無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]				○		○	○	○	
420	ほうじつくしがたし	報尽難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]									○*
421	ほし	欲	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
422	ほそし	細	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○		○	○	○	○	
423	ほぞたへがたし	臍増難	ク	第三次	名詞+形容詞	4	[タ+[タ+(ゴ+セ)]]									○*
424	ほとけくさし	仏臭	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]									○*
425	ほどちかし	程近	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]				○		○	○	○	
426	ほどとほし	程遠	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]				○					○*
427	ほどなし	程無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	

国際研究論叢

NO.	見出し語	漢字	活用	階層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	軍記	狂言	キリ	備考
428	ほどひさし	程久	シク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
429	ほのぐらし	仄暗	ク	第二次	語基+形容詞	3	[ゴ+(ゴ+セ)]			○				○	○	
430	ほろびやすし		ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
431	まうけがたし	設難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
432	まうけやすし	設易	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
433	まうしにくし	申難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○	○	
434	まうしやすし	申安	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	
435	まことし	実	シク	第一次	名詞+シ	2	(タ+セ)			○				○	○	
436	まことらし	実	シク	第一次	名詞+ラシ	2	(タ+セ)							○	○	※
437	まさし	正	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○	○	○	○	○	○	
438	まさなし	正無	ク	第二次	語基+無シ	3	[ゴ+(ゴ+セ)]				○			○	○	
439	またし	全・完	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○			○	○	○	○	○	
440	まちかし	間近	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]	○	○	○				○	○	
441	まつし	貧	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○			○	○		○	○	
442	まつやにくさし	松脂臭	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
443	まはしやすし	廻易	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
444	まもりがたし	守難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]					○		○	○	
445	まるし	丸	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)							○	○	*
446	まありにくし	參難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○	○	
447	みえがたし	見難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○			○	○	
448	みえなし	見無	ク	第二次	動詞(連用形)+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
449	みぐるし	見苦	シク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○	○	
450	みじかし	短	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
451	みしりにくし	見知難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
452	みしりやすし	見知易	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
453	みたくなし	見無	ク	第二次	動詞(連用形)+助動詞+無シ	4	[(タ+セ)+(ゴ+セ)]							○	○	※
454	みだれがはし	乱	シク	第一次	動詞(連用形)+ガハシ	2	(タ+セ)			○				○	○	
455	みつさし	水	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
456	みつらし	見辛	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
457	みにくし	醜	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]	○		○				○	○	
458	みみちかし	耳近	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○	○	
459	みめよし	見目良	ク	第二次	名詞+形容詞	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]							○	○	
460	みやすし	見易	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
461	むげなし	無下	ク	第一次	形容動詞(語幹)+ナシ	2	(ゴ+セ)							○	○	*
462	むごし	惨・酷	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)							○	○	*
463	むさし		ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)							○	○	*
464	むつかし	難	シク	第一次	(語基+カ)+シ	3	[(ゴ+セ)+セ]			○				○	○	
465	むつまし	親・睦	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
466	むなし	空・虚	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	
467	むまくさし	盲	ク	第二次	形容詞(語幹)+形容詞	3	[ゴ+(ゴ+セ)]							○	○	*
468	めちかし	目近	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
469	めづらし	珍	シク	第一次	(動詞被覆形+ラ)+シ	3	[(ゴ+セ)+セ]	○	○	○				○	○	
470	めでたし	愛	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○	○			○	○	
471	めはずかし	目恥	シク	第二次	名詞+形容詞	4	[タ+[(ゴ+セ)+セ]]							○	○	
472	めんぼくなし	面目無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]			○				○	○	
473	もくさもなし	目算無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
474	もちよし	持良	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
475	もったいなし	勿体	ク	第一次	名詞+ナシ	2	(タ+セ)							○	○	※
476	もどめがたし	求難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○	○	*
477	ものうし	物憂	ク	第二次	モノ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]			○	○			○	○	
478	ものがなし	物悲	シク	第二次	モノ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]	○		○				○	○	
479	ものがまし		シク	第一次	名詞+ガマシ	2	(タ+セ)							○	○	*
480	ものぐるはし	物狂	シク	第二次	モノ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]			○				○	○	
481	ものさびし	物寂	シク	第二次	モノ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]			○				○	○	
482	ものさわがし	物騒	シク	第二次	モノ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]			○				○	○	
483	ものすごし	物凄	ク	第二次	モノ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]							○	○	*
484	ものすさまじ	物凄	シク	第二次	モノ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]			○				○	○	
485	ものせはしなし	物忙	ク	第三次	モノ+形容詞	5	[タ+[(ゴ+セ)+(ゴ+セ)]]							○	○	*
486	ものほし	物欲	ク	第二次	モノ+形容詞	3	[セ+(ゴ+セ)]							○	○	*
487	ものみだけし	物見猛	ク	第二次	名詞+形容詞	4	[(セ+タ)+(ゴ+セ)]							○	○	*
488	ものものし	物物	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]			○				○	○	

狂言・キリシタン資料の形容詞の語構成

NO.	見出し語	漢字	活用	階層構造	造語形式	単位数	結合タイプ	上代	八代	中古	訓点	今昔	軍記	狂言	キリ	備考
489	もれやすし	泄易	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
490	もろし	脆	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○				○	○	○
491	やうがまし	様	シク	第一次	名詞+ガマシ	2	(タ+セ)							○		*
492	やさし	恥・優	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○				○	○	○
493	やすし	安・易	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
494	やふれやすし	敗易	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
495	やまふかし	山深	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]			○					○	
496	やむごとなし	止事無	ク	第二次	名詞+無シ	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]			○	○	○	○	○	○	○
497	やるせなし	遣瀬無	ク	第二次	名詞+無シ	4	[(タ+タ)+(ゴ+セ)]							○		*
498	ゆかし		シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)		○	○		○	○	○	○	○
499	ゆきがたし	行難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
500	ゆきにくし	行難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
501	ゆゆし	齋忌・忌	シク	第一次	語基の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]	○	○	○				○	○	○
502	よし	良・好・善	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
503	よしなし	由無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]				○	○	○	○	○	○
504	よそよそし	余所余所	シク	第一次	名詞の重複+シ	3	[(タ+タ)+セ]			○				○		
505	よびよし	呼良	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○		*
506	よぶかし	夜深	ク	第二次	名詞+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○	○	○	○	○	○	○
507	よろし	宜	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
508	よわし	弱	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
509	わかじ	若	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
510	わかちがたし	分離	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○		○
511	わかまえにくし	辨難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
512	わきまへがたし	弁難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
513	わけがたし	分離	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]							○		*
514	わずれがたし	忘難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○		○		○	○	○
515	わたくしなし	私無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]				○				○	
516	わりなし	理無	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]		○	○		○	○	○	○	○
517	わるし	悪	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)			○				○	○	○
518	わるし	悪	ク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)				○	○	○	○	○	○
519	わわし	騒	シク	第一次	語基の重複+シ	3	[(ゴ+ゴ)+セ]							○		*
520	をかし	可笑・可笑	シク	第一次	動詞被覆形+シ	2	(ゴ+セ)			○		○	○	○	○	○
521	をさなし	幼	ク	第二次	名詞+無シ	3	[タ+(ゴ+セ)]				○	○	○	○	○	○
522	をさまりやすし		ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*
523	をし	惜・愛	シク	第一次	語基+シ	2	(ゴ+セ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
524	をりがたし	居難	ク	第二次	動詞(連用形)+形容詞	3	[タ+(ゴ+セ)]								○	*

